

腐食防食部門委員会
第 367 回例会・見学会

開催日 令和 8 年 7 月 3 日 (金)

主催：公益社団法人 日本材料学会
協賛：安全工学会，化学工学会，火力原子力発電技術協会，
近畿化学協会，軽金属学会，資源・素材学会，ステン
レス協会，電気化学会，土木学会，日本化学会，日本ガス
協会，日本機械学会，日本金属学会，日本原子力学会，
日本建築学会，日本鋼構造協会，日本コンクリート工学
会，日本構造物診断技術協会、日本材料科学会，日本
伸銅協会，日本鑄造工学会，日本鉄鋼協会，日本非破
壊検査協会，日本プラントメンテナンス協会，日本文化
財科学会，日本分析化学会，日本防錆技術協会，日本
保全学会，日本溶射学会，日本溶接協会，表面技術協
会，腐食防食学会，文化財保存修復学会，溶接学会

日時：令和 8 年 7 月 3 日 (金) 12:45～16:30
会場：公益財団法人泉屋博古館 講堂
〒606-8431京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL: 075-771-6411
(地下鉄東西線「蹴上」駅から徒歩約20分，京都市
バス「東天王町」から東へ徒歩200メートル。
<https://sen-oku.or.jp/kyoto/facility/access/>
現地での見学会を含む関係でオンラインでの配信を
致しません。

主題：「文化財の腐食と防食管理」
内容：長期間にわたって土中または水中に埋蔵あるいは放
置された、あるいは建造物に使用された金属製遺物は、発掘・引
揚げ・解体により「文化財」として我々の眼前に現れる。これら
文化財の価値を守り、後世に伝えていくことの大切さは広く認
められているものの、保存のための科学的処方（「保存科学」）は
充分には確立されていない。本例会では、文化財特有の“長期
間にわたって穏やかに進行した腐食”のメカニズムと保存科学
についてのご講演、および関連する見学会を通じて、金属の長
期耐久性に対する理解を深めるきっかけとなることを期待する。

— プログラム —

BusinessMeeting 12:45～13:00

(司会 山下正人 (株)京都マテリアルズ)

1.1000年さびた鉄は何を物語るのか？

—埋蔵環境下の腐食から考える鉄製文化財の保存—

13:00～13:50

柳田明進 奈良文化財研究所

2.和釘の耐食メカニズムに関する一考察 13:50～14:40

迫田章人 日鉄テクノロジー(株)

休 憩 14:40～14:50

(司会 西山佳孝 日本製鉄(株))

3.古代青銅鏡の腐食機構解明への試み 14:50～15:40

渡邊緩子 日鉄テクノロジー(株)

泉屋博古館見学会

1)泉屋博古館の概要 15:40～15:55

山本堯 泉屋博古館

2)展示室見学会 15:55～16:30

腐食防食部門委員会会員以外の方は、参加費を戴きます。

日本材料学会・協賛学会会員: 5,000 円

その他 非会員: 10,000 円

【申込先】 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101

公益社団法人 日本材料学会

E-mail: jimu@ffice.jsms.jp

申し込み期限：令和8年6月26日 正午（厳守）